

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

議事要旨

日時 平成28年4月14日（木）12:45～13:30
会場 日本学術会議 5-C（1）会議室
出席者 巖佐委員、長野委員、山極委員、馬場委員、美宅委員、吉田委員、渡辺委員、斎藤委員（スカイプ）、辻委員（スカイプ）
陪席 日本学術会議事務局（石井参事官、松宮参事官補佐、大橋参事官付、鈴木参事官付）

配布資料

- 資料1 学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて
- 資料2 評価小分科会における審議事項等
- 資料3 第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方
- 資料4 今後のスケジュール
- 資料5 統合生物学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として巖佐委員が、副委員長として馬場委員が、幹事として美宅委員及び吉田委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

2) 評価小分科会における審議事項等

※両小分科会了承の上、基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会と合同

学術の大型研究計画検討分科会委員である長野委員（統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会委員）、嶋田委員（基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会委員）より、資料について説明があった。

3) 利益相反についての考え方の確認

※両小分科会了承の上、基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会と合同

学術の大型研究計画検討分科会委員である長野委員（統合生物学分野の大型研究計画評価小分科会委員）、嶋田委員（基礎生物学分野の大型研究計画評価小分科会委員）より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

4) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、利益相反の点から各委員の評価に問題がないことの確認及び区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけの審議の方法を、資料2にある「8.の評価結果の決定の仕方」の③とすることとした。

また、副分野を選択している提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、一部の提案について依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

また、第1回の議事要旨については、委員長一任とすることとした。